

おれんじニュース

No278

2013年5月号

感 想	虚空蔵山・とけん山・天念寺、無明の橋、 黒土耶馬、文殊ヶ仙・本明川
--------	--------------------------------------



4月28日、天念寺の無明の橋を渡るべく冒険コースの岩場を登るオレンジ登山隊の老若男女
写真提供 北九州の田中氏

★会員一人一人が運営委員です。みんなでオレンジH.Cの運営に参加しましょう。★

★集会・委員会のお知らせ★ 山行の一步は集会参加から				
	2013年5月	2013年6月	時 間	場 所
運営委員会	8日(水)	12日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館
全体集会	22日(水)	26日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館



虚空蔵山も低山なれどルートによっては、面白き山であった。(*^_^*)



写真提供 田村さん 左も



この穴通れ
たら親孝行
だって!!



本明川を歩きました。飛び石を渡って桜の咲いてる河原を目指します。



2013/5月の山行



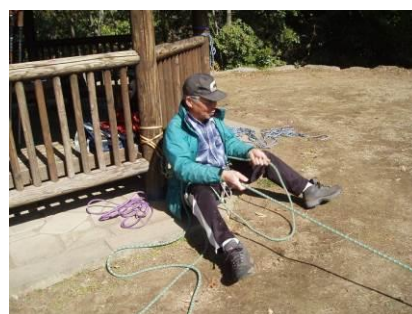
部	山行部	ひまわり山行部	技術研修部	自然保護部	技術研修部
月・日	5月4日(土) 5日(日)	5月10日(金)	5月12日(日)	5月21日(火)	5月26日(日)
山名(行事)	夏木山/黒門山 (1037m)	萑岳(358m) 大岳(296m)	雲仙新道	長崎街道 (永昌~大村)	黒岳(1587m)
地図	見立・木浦鉾山	江迎 佐世保北部	雲仙・島原		大船山
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 8:00	西諫早駅 8:00	諫早駅裏 9:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難易度	初心者&健脚	初心者	初心者	初心者	中級
帰着時間	20:00	17:00	17:00	16:00	20:00
歩行時間	5/4h	3.5h	4h	5h	6h
交通手段	マイクロバス	マイカー	マイカー	往(歩き) 復(自由)	マイクロバス
宿泊施設	藤川内 キャンプ場	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温泉	有り	有り(?)	有り	無し	無し
参加費	12,000円	1,000円	1,000円	無し	5,000円
申込期限	定員なり次第	定員なり次第	定員なり次第	随時	定員なり次第
集約	田中	林	佐原	中村	佐原
備考	アケボノツツジの見頃です	初夏の平戸をドライブ気分 で	ヒカゲツツジは絶対みるべし	2月分のリベンジです。歴史の路歩き	九重ですが玄人の山歩き。ツクシシャクナゲもみませ
感想文提出	5/14	5/20	5/22	5/30	6/6

技術研修部だより

5月18日(土) セルPRESキュー

夏のアルプスへ行く人は参加しましょう。

西諫早駅前に9:30集合



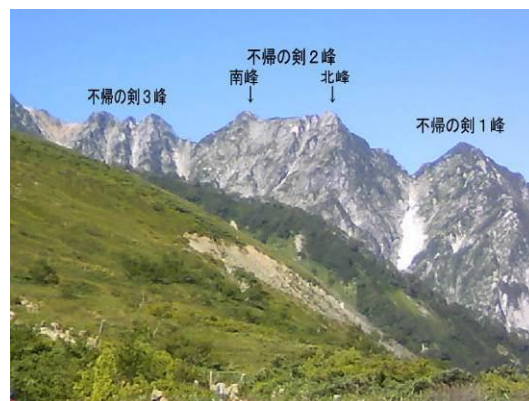
2013/6月の山行



部	技術研修部	山行部	ひまわり山行部	自然保護部	技術研修部
月・日	6月5日(水)	6月8日(土)	6月14日(金)	6月19日(水)	6月22日(土)
山名(行事)	岩屋山(475m)	鶴見岳(1374.5m) 鞍ヶ戸・内山	九千部岳(1062m)	五ヶ原岳(1058m) クリーンハイク	倶利伽羅谷から 阿蘇の砂千里 中岳、高岳も
地 図	長崎西北部	別府西部	雲仙・島原・愛野	多良岳	阿蘇山
集合場所	西諫早駅9:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 9:00	西諫早駅 8:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難易度	初心者	初心者&健脚	初心者	初心者	初心者&健脚
帰着時間	17:00	19:30	17:00	17:00	19:30
歩行時間	4h	4h	3.5h	3.5h	4h
交通手段	マイカー	マイクロバス	マイカー	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温泉	無し	有り	有り	無し	有り
参加費	1000円	5000円	1000円	1000円	5000円
申込期限	定員なり次第	定員なり次第	定員なり次第	随時	定員なり次第
集 約	佐原	田中	林	中村	佐原
備 考	岩屋権現にも 足を運びます	山頂一帯のミヤマ マキリシマ群落 が見事です	ヤマボウシが見 事です	ミツバツツジの 咲く道をゴミを 拾って綺麗にし よう	スケールの大き い阿蘇の自然を 眺めながら歩 きます
感想文提出	6/15	6/18	6/24	6/29	7/2

夏のアルプス計画

8月下旬 しろうまだけ かえらずのけん かしまやり
白馬岳～不帰険～鹿島槍
(申込み川原へ)



第 34 回定期総会開催



オレンジハイキングクラブ第 34 回定期総会は 4 月 6 日(土)西諫早公民館に於いて開催されました。悪天候にもかかわらず会員 27 名が出席しました。また県連理事長稲田氏が来賓として出席されました。

岩田議長、國分副議長、中野書記を選出して議事が進められ、県連理事の選出を除き、議案書提案通り可決されました。(県連理事は 4 月の運営委員会で選出)

稲田理事長あいさつ

- ・二年前から理事長になったが、オレンジの理事は県連の中心となって活躍し、会員にも大いに協力して貰っている。大変感謝している。
- ・全国連も昨年 9 月から個人会員制を取り入れている。北海道は 600 人ほどいる。しかし体力、知識など不明なのでレベル向上を援助していく。岩崎元郎さんも会員です。
- ・県連事務所(家賃 3 万 7 千円)を同額で新規のビルに移転する計画であったが、家主が 2 万円で可との申し出があり、一部改装することを含めて交渉している。

主な意見・要望として

- ・諫早湾干拓問題は、自然保護には開門がよいのか否か、もっと勉強してみよう。
 - ・山行部の持ち回り山行実行計画案作成は実力向上につながる。是非実行して欲しい。
 - ・2 週間したら体力は元に戻る。体力を維持するためにも会員数の増加をはかり山行回数を多くしましょう。
 - ・ホームページのブログや写真は管理者だけでは限度がある。広く P R するには皆さんのネタ提供が必要です。協力をお願いします。
 - ・パソコン愛好者も増加している。会独自の写真展を開催しては如何でしょう。
 - ・おれんじニュースは最少限印刷とし、インターネット利用者は極力ホームページで閲覧する方向へ移行するようにする。印刷費や送料の節減になる。
 - ・山行時保険は煩雑なところもあるため、改善すべきではないか。
- 等が出され、今後の運営委員会や全体集会の中で消化していくことにした。

2013 年度役員、各部長、県連委員

- | | |
|-----------------|-------------------------------|
| ★会 長：福岡正廣 | ☆副 会 長：富永徳麿、佐原満子 |
| ★会 計：田中静香 | ☆会 計 監 査：松尾香一 |
| ★事 務 局 長：兵庫芳隆 | ☆事 務 局 次 長：山下ちず子(兼おれんじニュース担当) |
| ★山 行 部 長：中須賀孝正 | ☆副 部 長：鎗水律夫、田中静香 |
| ★技術研修部長：川原慶紀 | ☆副 部 長：松岡正樹 |
| ★ひまわり山行部長：小山準之介 | ☆副 部 長：林 孝子 |
| ★自然保護部長：中里利行 | ☆副 部 長：中村かずえ |
| ★県 連 理 事：鎗水律夫 | ☆県 連 評 議 員：山下ちず子 |
| ★県連会計監査：浦田むつみ | ☆新特別基金担当委員：山口イツ子 |

2013 年 3 月 / 4 月の山行報告



3 月 19 日 (火)

虚空蔵山(609m)

(参加者) 川原、松岡、林田、山口、小山、中村、円能寺、工藤、山下、田村 (10名)

(行程) 西諫早駅 8:00—上小場登山口 9:40—登山開始 10:00—冒険コース家族連れコースの分岐—冒険コースへ—頂上着 12:00—13:00 下山開始—岩屋口登山口 14:00—上小場登山口まで歩く—車で移動岩屋権現—大崎半島のしおさいの湯 15:30—16:30 帰諫

(感想) 今日は、出発時間がいつもより早くないので少しゆっくりしたスタートである。

マイカー3台にそれぞれ乗り込み虚空蔵山を目指す。

途中の景色で芸術的に手組の石垣を積み上げて作られた段々畑を眺められ風情有りが心が安らいだ。



石木に入りもうすぐ登山口という辺りに「水汲み場」と野菜売り場が在り各々新鮮な野菜をゲットしていた。

登山口に着き、ストレッチをして登山開始。目的の虚空蔵山を目指す。上小場から行くと途中で冒険コースと家族連れコースに分かれる。私たちのグループはもちろん冒険コースへと進む。しばらく樹林帯を歩くと岩場や崖が現れハシゴやクサリを使って岩場を登りきる。あっという間に山頂に着いた。山頂からは 360 度の展望が開けて広々としていた。

山下さんの案内で景色のいい場所をえらんで弁当を食べた。岩屋口への下りはさほど急でなく私的にはラッキーであった。岩屋口から上小場まで車道を歩いてて目前にそびえた山が見えたので「あの山は何て山ですか？」と川原さんに尋ねたら「虚空蔵山ですよ」と言われてきょとんとしてしまった。ーうわあ、あそこに登って下りてきたんだーと二度びっくりであり、私らしい質問であり恥ずかしい思いがした。

帰りに岩屋権現に立ち寄り 10 名全員が親孝行が証明でき皆さん笑顔がこぼれた。

大崎半島のしおさいの湯で汗を流して帰路についた。

低山ながら登山客に愛されているらしい「日本のマッターホルン」といわれてる虚空蔵山に以前から一度は行って見たかったのです。今回、自然保護部で計画して下さり感謝の気持ちで一杯で～す。！本当にお世話になりました。 (田村 記 写真も)

3月29日(金)

とけん山

(参加者) 佐藤、小山、林、林田、金丸(直)、工藤、中野、[松本真奈(小3)、一真(幼稚園)]・中野さんの孫 (9名)

(行程) 8:20 諫早バスセンター発—9:05 橘神社前バス停着—9:52 橘神社前バス停発—10:05 木場バス停—10:45 峠越え—12:15 小浜神社入口—12:35 とけん山公園—13:30 下山—14:10 温泉—15:10 小浜バスターミナルより帰路へ

(感想) 当日の朝は薄曇の天気であまりと気怠いなか、バスターミナルに着くと林さんから



「今日は7名」と少ないと聞き寂しいな一と思ったが、中野さんのお孫さんが2名参加してくれると聞いてすこし安心した。小山部長の「今日は大人の花見を楽しみましょう、ゲストの皆さんもきてくれました」の言葉で、バスに乗り込み出発した。

車内での会話は少なく重苦しい雰囲気なかで、唯一中野ファミリーの会話が耳に入り、子供の声に時々大人の微笑を誘って和やかになった。・・・子供っていいな。

約50分後、橘神社前のバス停下車、目の前には神社参道の満開の桜がその淡いピンク色の群生を見せ、また風に舞う花びらの美しさは格別で、皆一同に「わーきれい、すばらしい」の感嘆の声をあげ、一気に眼が覚めてカメラでその光景を収めた。気がつくと周りは「カシャ、カシャ」「はいチーズ」などいつの間にか“撮影会”状態となっていた。

誰もが美しいものを見て感動し、無邪気になり心おどる・・・春はいい・自然は何とすばら

しい。30分ほど桜を愛で、参道の露店を散策しながら橋神社に参拝し、再度バスに乗り「木場」で下車いよいよ登山？の開始である。

登山道入り口と延びる田舎道は視界を遮るものは少なく、遠くの山腹に際立つ桜の白さに眼をうばわれ足を止め、また道沿いの咲き誇る可憐な色とりどりの花々に心を癒された。

のんびり田舎道を歩き、民家庭先の木々の若芽や田んぼの蓮華草、菜の花を見ていると日頃の疲れもどこかに飛んでしまう「こういう時間が大事だな」と、つくづく思ったのは僕だけではないだろう。

道の終点部に山野草の“花ダイコン”を見つけその鮮やかな紫紺色に見とれていると、誰かが近くに「18歳未満立ち入り禁止」だって一と看板を見つけた。そこにはいわゆる「ラブホテル」（と言っても我輩には無縁であるが・・・）の入り口であった。するとすかさずまた誰かが「老人もお断り」の言葉に一同爆笑した。ただ、少年、少女には何のことかわからず、キョトンとしていたのが印象的だった。

登山道入り口の林へ入ると、うぐいすの歓迎（侵入者への警告？）を受け、ほの暗い中を歩みを進めたが、上り坂は平坦でまずまず整備されていたが峠を越えるあたりから落石や倒木が多く足元を確認しながら慎重に下った。

そんななか、中野さんの「青色の石には乗らないの、草の上はすべるからねー」の言葉にお孫さんは「じゃどこを通るの？」・・・『ごもつとも』（子供は純粹で素直で正直だなあ）小生にもこういう時期があったのだろうか？いや必ずあったはず、道すがら子供の数々の言葉に教えられるものがあった。

そうこうしてるまに、林を抜け、視界が広がり小集落につき、お茶、菓子などで休憩、振り返ると越えてきた峠付近にも気付かなかった山桜が満開で、清涼感と快い疲れが残っていた。

ここからは舗装道路を小浜温泉街に向かって進んだが、この頃になると歩き始めて一時間半あまり、疲れと単調な歩きに飽きてきたのか少年、少女は歩みも乱れ、会話も減って『中野おばあさま』は少年のバックまで持たされ（子守も大変だ）と・・・しかし家族連れもまたそれ以上に楽しい。

結局とけん山入り口には正午過ぎに着き、（途中、ビール・御菓子をかう道草もくったが）また見事な桜並木のトンネルを散りゆく花びらをあびて最後の坂道を登った。少年・少女も元気に先頭で公園に上がりはしゃいでいた。我々も先ずビールで『乾杯』・・・汗をかいた後の一杯は最高に“うまい”

桜の下で歓喜しているヒヨドリ・ウグイスなどの声を聴きながら昼食し談笑した。

また来年も来ようと皆で約束して、1時間ほどの休憩後名残を惜しみながら下山し、町民浴場で温泉に浸かり疲れを癒し、帰路のバスのなかで・・・うとうと・・・心よい時間をすごした。



最後に今日の企画に参加し、心身ともリフレッシュ出来たことをスタッフと同行の皆さんに感謝したい有り難うございました。(工藤 記 文中写真は佐藤氏提供)

3月30日(土)・31日(日)

天念寺無明の橋、黒土耶馬、文殊ヶ仙

<参加者> 1班 山下(PL)円能寺(PSL)下釜、高森、本田、松岡、荒木(外)田中(外)
2班 国分(PL)田中し(PSL)小山、中村、山口、佐原、川原
ガイド 大分労山 石田、戸高、他大分労山メンバー4名

<行程> 3/30(土) 西諫早6:30~長崎道~九州道~筑紫野インター~大分~日出IC~セブンイレブン(時間調整)大分労山合流~歴史資料館(鬼会の里)昼食11:45~登山口発12:30~無明の橋~黒土耶馬~椿堂16:00~溪泉泊

3/31(日) 旅館発7:40~文殊ヶ仙入口8:00~登山口発8:30~文殊ヶ仙山頂10:30~登山口11:30~三染耶馬昼食13:00~山香温泉14:10~温泉発14:50~西諫早着18:40

<感想> 一泊二日で国東の山へ。お天気が少々心配だ。国東の山といえば高くはないが、秀峰、奇岩、景勝といわれる。今回の最大の目的は天空の回廊に架かる天念寺無明橋。以前登った中山仙境の無明橋もスリリングだったが今回はどんなだろうかと車中わくわくしていた。金立で休憩後、筑紫野でKさんを乗せて一路大分へ。

今回は大分労山の方々との交流登山でガイドをして下さるとのことで、それも楽しみだった。コンビニで大分労山の石田氏と待ち合わせ先導してもらい、途中福岡の田中氏と合流し登山口へ。

歴史資料館「鬼会の里」で大分労山の他のメンバーも加わり昼食をとる。石田氏、戸高氏の案内のもと一般ルートではなくマイナールートを取る。いきなりの直登。頭、足元注意を連呼しながら登る。鎖あり、ロープあり何でもありに緊張する。日頃の川原さんの教えを守り三点確保で皆難なくクリア。Mさんが全身確保(?)をしていたと、その時の様子をSさんが話す。見られなかったのは残念。Mさん話題提供ありがとうございます(笑)

尾根に上がると見晴らしが良い。周りの山は山桜がいっぱい、濃淡見事で初めて目にした。いよいよ無明橋だが、その前に岩が待ち受けていた。上級者コースと一般コースに分かれていたが、上級者コースに挑戦した。無明橋は下を見ると怖い。スリルはあったが橋幅もあり長くないので思ったほど怖くはなかった。橋の真ん中で手を振っていたのは誰?祠には「八十三番」と書かれてあった。次は少し戻り鎖を使って下り突端に行った。祠と石灯籠があった。そこから無明橋がよく見えた。やはり遠くから見ると怖い。ここら一带が国土耶馬というそうだ。急坂を下り宿泊先の溪泉へ。石田、戸高両氏も一緒に食事の後、今回はスナック「川原」で楽しい話と美味しい酒で賑わった。

2日目は文殊仙へ。境内では知恵の水を戴く。もう手遅れなどと笑いながらもボケ防止になるかもとやはり戴くことに(笑)今日の山は昨日より登りやすいと聞いたが、いやいや結構厳しかった。本日も一般ルートではなく、オレンジのためにと登り応えのあるルートを案内してくださった。枝にすぎり岩をつかみ急登、急降下なかなかでした。下山後田染荘園を案内してもらうがなかなかわからず着いたところは風が強くゆっくり出来ないので移動して三染耶馬で昼食とした。前方には岩峰、前に川、桜の木の下、酒に桜の花びらを浮かべ、なかなか風流と話しながらお酒を戴く。大分のお二人、福岡の田中さんと別れる。温泉で汗を流して一路諫早へ。

今回の山はなかなか面白かったと言ったら生意気かもしれないが日頃のセルフレスキューがあるからこそ、今回のような山も怪我なく全員クリア出来たと思う。皆さんこれからも積極的に訓練には参加しましょう！大分労山の皆さん案内ありがとうございました。企画実行された技研部ありがとうございました。皆さんお疲れ様でした。(田中静 記)

4月9日 (火)

本明川花見散策

(参加者) 小山、中村、鎗水、下釜、川原、松岡、林田、山下、山口、田中(紘)、(元)江崎、
(外)橋本 (12名)

今年の桜は早かった。止めは4月7日、日本中を吹き荒れた春の嵐。我が家の周辺では、既に葉桜になっている。ところが4月9日、満開のお花見が出来たのです。場所は、本明川堤防・桜つつみ。諫早小学校裏手から浄水場先まで、2キロあまりに渡り8種類542本(と、ブログにありました)の八重桜だけが植えられた堤防です。花期が遅いことが幸いして、お目にかかれました。これほど多くの種類を同時に観賞したのは初めてのこと。

1カンザン(観山)は濃いピンクで、街路樹によく植えられる。

2フゲンゾウ(普賢象)は、雌蕊が緑色で先が曲がっている様子が普賢様を乗せた象の鼻に似ているところから命名されたとか。昔の人の想像力豊かなこと！

3シロタエ(白妙)は淡いピンク

4ギョイコウ(御衣黄)は花の色が黄緑、

その他にも**⑤松月 ⑥陽春 ⑦紅枝垂 ⑧ミクルマガエシ(御車返し)**とは、室町時代、天皇があまりの美しさに、お車を返してご覧になられたとか。命名とその由来を記した名札がかけてある。“八重の桜”を存分に堪能しました。

その後、浄水場先から半造川堤防上のサイクリングロードを競技場まで歩く。中央干拓地では、麦が青々と春風に揺られ、空には揚げひばり、川では鯉の恋の水しぶき、カルガモ(カイツブリかも)親子の泳ぐ姿、等々・・・楽しい春の一日でした。歩数約2万歩、よく歩きました。旧会員の江崎さんもお元気な姿で完歩されました。(田中紘子 記)



無明の橋を下から眺める



まず、取り付きの岩場登りです。



かにのたてばい、よこばい



四点支持で安全確保(笑い)



わたったぜ！！
へっへっへっ



“楽勝、楽勝”
セルフレスキュー
できたえてるから



北九州のTさん。写真も彼が提供

本明川散策はめがね橋からスタートしました。疲れが出てない内にパチリ



自然保護部だから手にはゴミ



	おれんじニュースNo278
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	山下ちず子
発行年月日	2013. 4. 24
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://zd1307.s11.zdrv.com/wp_orange/

先月号で書いたとおり、今月号は桜だよりの号となりました。国東の山桜、とけん山と橘神社のソメイヨシノ、それに本明川のいろんな八重桜。写真や感想文送ってくださりありがとうございました。山下 (*^_^*)